

第1回 安芸市都市計画マスタープラン策定委員会 議事録

日時 平成30年10月23日(火) 13:30～15:30

場所 安芸市役所 第1・2会議室

出席者 安芸市 横山市長

(学識経験者) 坂本委員(委員長)、門脇委員

(団体職員) 山本委員、横田委員、松本委員、小松委員、(欠席一尾原委員)

(行政職員) 高知県: 秋元委員

安芸市: 竹部委員(副委員長)、岡田委員、門田委員、大野委員、北村委員、角田委員、小松(仁)委員、小松(正)委員、宇根委員、(欠席一國藤委員)

(事務局) 安芸市建設課: 大坪課長、(自動車道推進室)宮地室長、戸島主任、村永主幹

昭和(株): 西久保、上村、古賀

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 委員委嘱

4. 委員長及び副委員長の選出

- ・互選により、委員長は委員長、副委員長は竹部委員が選出された。

5. 議事

(1) 都市計画マスタープランについて

- ・事務局からの資料説明後に、以下の質疑応答。

資料3 都市計画マスタープランについて	
委員	今後この都市計画マスタープランが安芸市の新たな方針を示すこととなりますが、現在の都市計画を変更する場合は従来どおりの都市計画変更の手続きを経ることに変わりはないでしょうか。
事務局	従来と同じ手続きになると思います。
委員	現在の都市計画を見直そうとした場合は法的な手続きを踏んでいくということで、都市計画マスタープランはあくまでも都市計画の方針ということでしょうか。
事務局	市全体の都市計画を進めていく上での基本的な方針です。
資料4 策定スケジュール	
委員長	「策定スケジュール(案)」の「案」は、本委員会で承認されると取るということですか。
事務局	ご承認いただければ「案」をとらせていただきます。

資料5	安芸市の現状の概要（現況、関連計画）
委員長	浸水危険区域の説明がありましたが、安芸自動車道の新しいインターは入っていますか。
事務局	この図面の緑の最大浸水深 2.0～3.0mのエリアの辺りになるかと思えます。75 ページの都市計画総括図に自動車道 IC の位置があるので、比較していただくとおおよその位置がわかるかと思えます。浸水深 2.0～3.0mは個人資産の安全性に懸念があります。確認が必要ですが、他と比べて比較的浸水が少ないエリア辺りと考えられます。
委員長	今後の重要な視点になると思えますので、浸水危険区域と各施設が重なって見ることができる図面を作成してはどうでしょうか。
資料6	現行の都市計画マスタープランの検証の概要
	特になし
資料7	計画策定の方向性検討
委員長	人口ビジョンでは将来出生率を 2.27 まで回復させるとあるが厳しい数字であり、人口減少に歯止めをかけるにはどうすればいいのか議論していく必要があると思えます。 また、今後、室戸までの幹線道路が整備され、旅行者にとっては便利になりますが、一方で、これまで来訪されていたところがされなくなるということもあります。その影響で人口減少を加速させる可能性もあります。
委員長	幹線道路の整備は重要ですが、市としてどうすれば賑わいのある中心市街地、持続可能な都市に繋がるのか議論していく必要があります。
委員	福祉の観点から安芸病院などに高齢者の方がアクセスする際にこういった問題があるかを、今後の 20 年間では考えていかないといけない。
委員	安芸病院には公共交通でアクセスできるようになっており、新駅も近く建設予定と聞いています。
委員長	駅から病院への新しい道においては、高齢者・障害者の方が歩きやすい環境をつくらないといけない。
委員	近年では予算も厳しくなっているが、歩道整備や歩行者に配慮した道路整備など必要なものは都市マスの方針で議論していきたいと考えます。
委員	都市マスの範囲を市全域に広げ、集落も守っていくという思いはわかります。そのためには住民との合意形成が重要で、ワークショップやアンケート、地域説明会などを通して住民との意思疎通が必要です。
委員	安芸市の概況を基に、全体構想案、地域別構想案を検討するにあたって、市街地と中山間地域を分け、地域の特徴として人口などの状況をわかりやすく示すとよいのではないのでしょうか。
事務局	地域別の現況整理に関しては地域別構想とともに来年度を予定していましたが、ワークショップ前に人口など出来る範囲で地域別の現況を整理します。
委員	新たな都市づくりを考えていく上で、津波浸水予測をどうとらえるか、現状の土地利用や都市施設の配置は無視できないため、市街地を大きく変えることも難しく、また、市庁舎移転も考慮する必要があります。
委員長	災害対策と、一方では現在の QOL や利便性の維持を考慮しつつ、より強く持

委員	<p>続可能な都市づくりを議論していく必要があります。</p> <p>観光に関しては市内を1日で概ね回ることができます。安芸市だけでなく室戸等高知東部や徳島など行政区分を超えた周遊の視点や連携が重要であると思います。</p>
委員	<p>有事の際の対策はどうでしょうか。</p>
委員	<p>安芸市は台風や7月の大雨など災害が多いですが、比較的災害に強いまちだと思います。</p>
委員長	<p>空家の問題についてはどうお考えでしょうか。</p>
委員	<p>空家に関しては、色々な方法で活用していくことが重要と考えられます。</p>
委員	<p>商店街に関しては、まちの核となる施設が点在していることに問題があり、人がまばらになっていますので、現状の人の動きがわからず、把握したいという思いがあります。</p> <p>また、全国どこにでもあるようなまちではなく、特徴があるまちにしたいと思います。</p>
委員長	<p>ここにしかないまちづくりは重要だと思います。</p> <p>P T調査は最近少ないですが、こういった動きをすると楽しめるといったプランやコースを、公共交通の利用や利用者のニーズを踏まえて検討することが重要です。</p>
委員	<p>まちなかの空家は地震時に倒れる危険があり、何とかできないでしょうか。</p>
委員長	<p>空家の実態を把握した方がよいと思います。</p>
事務局	<p>空家の実態調査は実施していませんが、避難路に接している空家を中心に対策が必要であると考えています。</p>
委員	<p>平成27年にゼンリンが住宅地図の改訂に合わせて空家を調査し、結果1,200～1,300件ほど見つかりました。空家にABCのランク付けを行い、Aの状態が良い空家については所有者を調べ、空家バンクに登録していただくように交渉をしています。BCについてはこれからとなります。</p>
委員長	<p>シーズン以外の場合もあり空家の定義が難しいですが、可能であれば現況整理に反映していただきたいです。</p>

(2) 市民アンケート、市民ワークショップの実施方針について

・事務局からの資料説明後に、以下の質疑応答。

資料8① 市民アンケート実施要領(案)	
委員	<p>アンケートについてですが、最終的にどこに繋がっていくのかということと、就業者数や観光客数はどこに反映されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>アンケートは、課題整理に反映します。</p> <p>就業者数や観光客数については、土地利用分野や将来像に関する設問に産業や観光の視点を入れています。</p>
委員長	<p>アンケートの配布部数に対して、想定回収率はどの程度を考えていますか。</p> <p>また、想定されている回収率における精度としてはどうか。</p>
事務局	<p>総計の際のアンケートと同じ4割程度、800票程度の回収を目標としております。800票程度の回収ができれば、安芸市の人口規模の精度としては十分と考えています。</p>

委員	アンケートの6-2で農業は都市計画としてはあまり重要ではないかも知れませんが、農業は職業であり生活に関する部分、緑地はレクリエーションとカテゴリーが違うため、設問としては分けた方がよいのではないのでしょうか。
委員長	アンケートで選ばれなかったものを重要ではないと考えていいのかという議論もあります。また、満足度を5段階評価する調査方法も用いている設問もあります。まだ間に合いますので検討していただきたいと思います。
委員	アンケート結果の分析で何を求めたいのかを逆説的に設定してはいかがでしょうか。
事務局	アンケートの設定に際して、各分野の問題点を網羅する形で設定しております。農地と緑地の設問を分けることについては検討いたします。
委員長	アンケートの内容が一般の方の難しくないか、プレ調査をしたらいかがでしょうか。
事務局	このアンケートは施策をつくることが目的ではなくて、市民がまちづくりの課題をどういう風に捉えているか、何を重要と考えているのかなど、まちづくりの課題や将来像、方針を考えていく基礎資料とさせていただきたいと思っています。具体的な施策につきましては、各行政担当課を対象に調査をさせていただきます。
委員長	都市マスは大枠を扱っているので、まちづくりの視点・方針を考えるのに参考にできればよいと思います。
資料8② 市民ワークショップ実施要領（案）	
委員	ワークショップは12月実施予定ということで時間が迫っています。今回は調査範囲が広く、人の集まりが心配ですが募集方法はどのようにお考えでしょうか。
事務局	公募に加えて、まちづくりに関心がある方を中心に直接お声がけすることも考えています。その際にご協力をお願いします。

6. 閉 会